

平成27年度における環境調査の結果等について
【愛知県】

平成28年6月

東海旅客鉄道株式会社

目 次

	頁
1 概要	1-1
1-1 本書の概要	1-1
1-2 事業の実施状況	1-1
2 モニタリング	2-1
2-1 地下水	2-1
3 その他特に実施した調査	3-1
3-1 希少猛禽類の継続調査	3-1
4 業務の委託先	4-1
非公開版	(別冊)

1 概要

1-1 本書の概要

本書は、「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価書【愛知県】平成26年8月」、「『中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価書【愛知県】平成26年8月』に基づく事後調査計画書（平成26年11月）』及び『「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価書【愛知県】平成26年8月」に基づく事後調査計画書（工事中）（名古屋市）（平成26年11月）』に基づいて、平成27年度に実施したモニタリングの実施状況について取りまとめ、報告するものである。

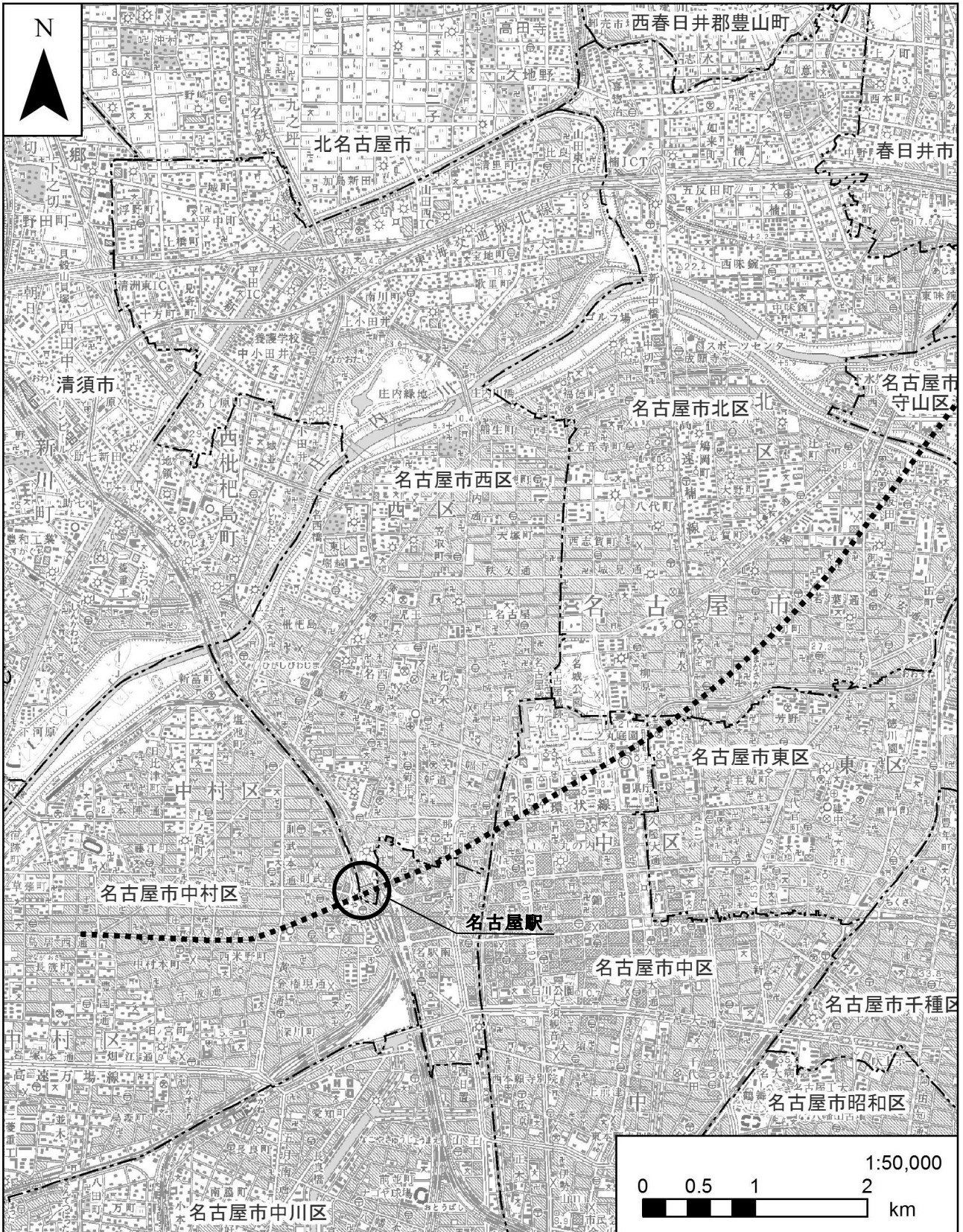
1-2 事業の実施状況

愛知県内において平成27年度は、名古屋駅の準備工事を進めるとともに、名城非常口及び坂下非常口について、工事契約の手続きを進めた。なお、名城非常口の予定地である名古屋市中区三の丸付近では、名古屋市教育委員会に委託し、埋蔵文化財の発掘調査を行った。また、大深度区間においては、大深度地下使用に向けた井戸等の物件調査、春日井市西尾町内及び名古屋市内においては、中心線測量及び関係地権者の皆様に向けた用地説明会を開催したほか、計画路線付近において地質調査及び設計協議を実施した。

平成27年度に工事の実施箇所及び工事の実施状況は表1-2-1のとおりである。また実施箇所の位置を図1-2-1に示す。

表 1-2-1 平成 27 年度の工事の実施状況

実施箇所	実施状況
名古屋駅	・軌道工事、支障移転工事等を行った。



凡例

- 計画路線(トンネル部)
- — 県境
- · — 市区町村境

図 1-2-1 工事実施箇所

2 モニタリング

平成 27 年度は地下水について、モニタリングを実施した。

2-1 地下水

地下水の水位について、工事前のモニタリングを実施した。

2-1-1 調査方法

調査方法を、表 2-1-1-1に示す。

表 2-1-1-1 地下水の調査方法

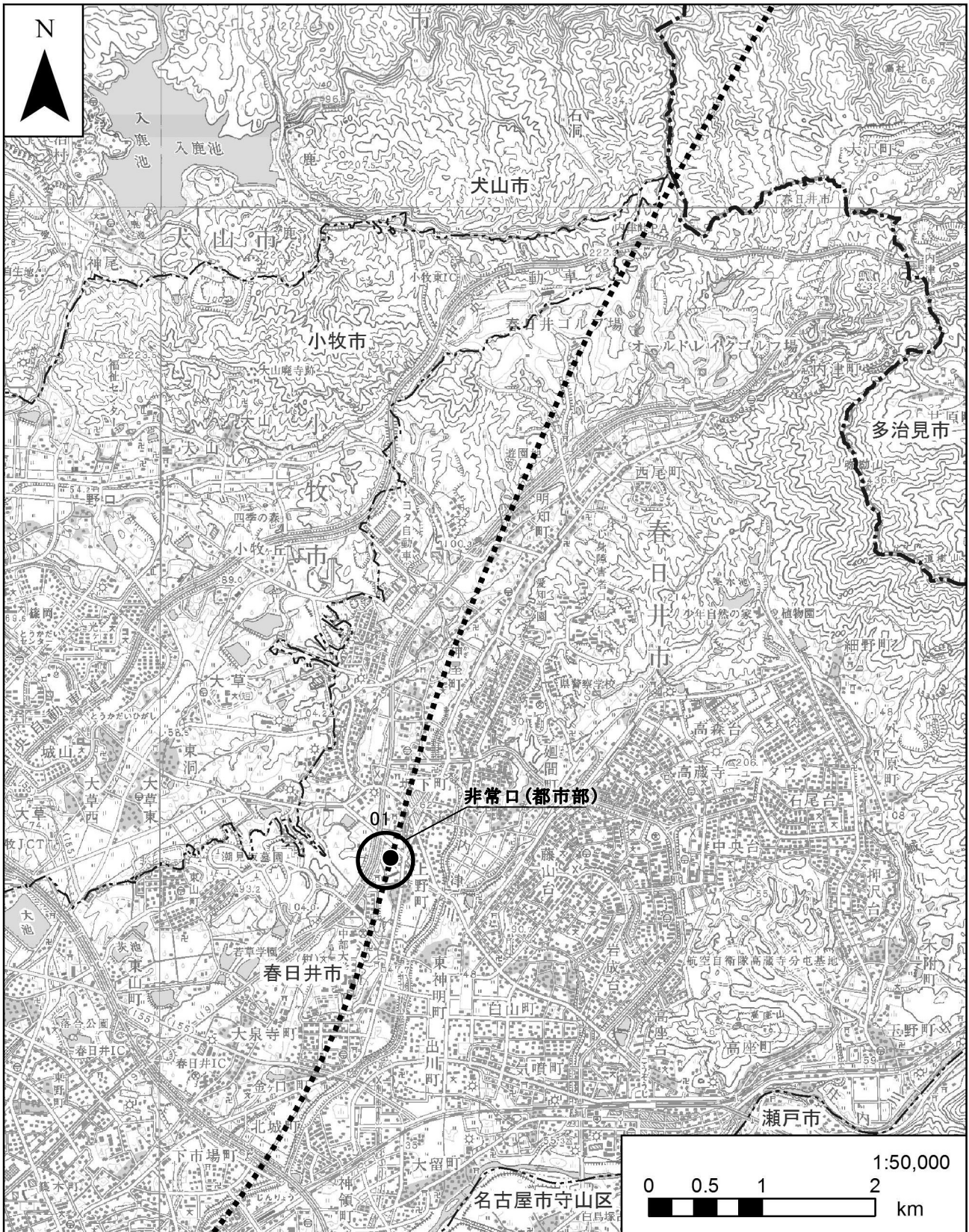
調査項目	調査方法
水位	地下水は「地下水調査及び観測指針（案）」（平成5年 建設省河川局）に定める測定方法に準拠する。

2-1-2 調査地点

現地調査地点は、非常口（都市部）及び地下駅付近の地点とした。現地調査地点を表 2-1-2-1 及び図 2-1-2-1 に示す。

表 2-1-2-1 地下水の水位の現地調査地点

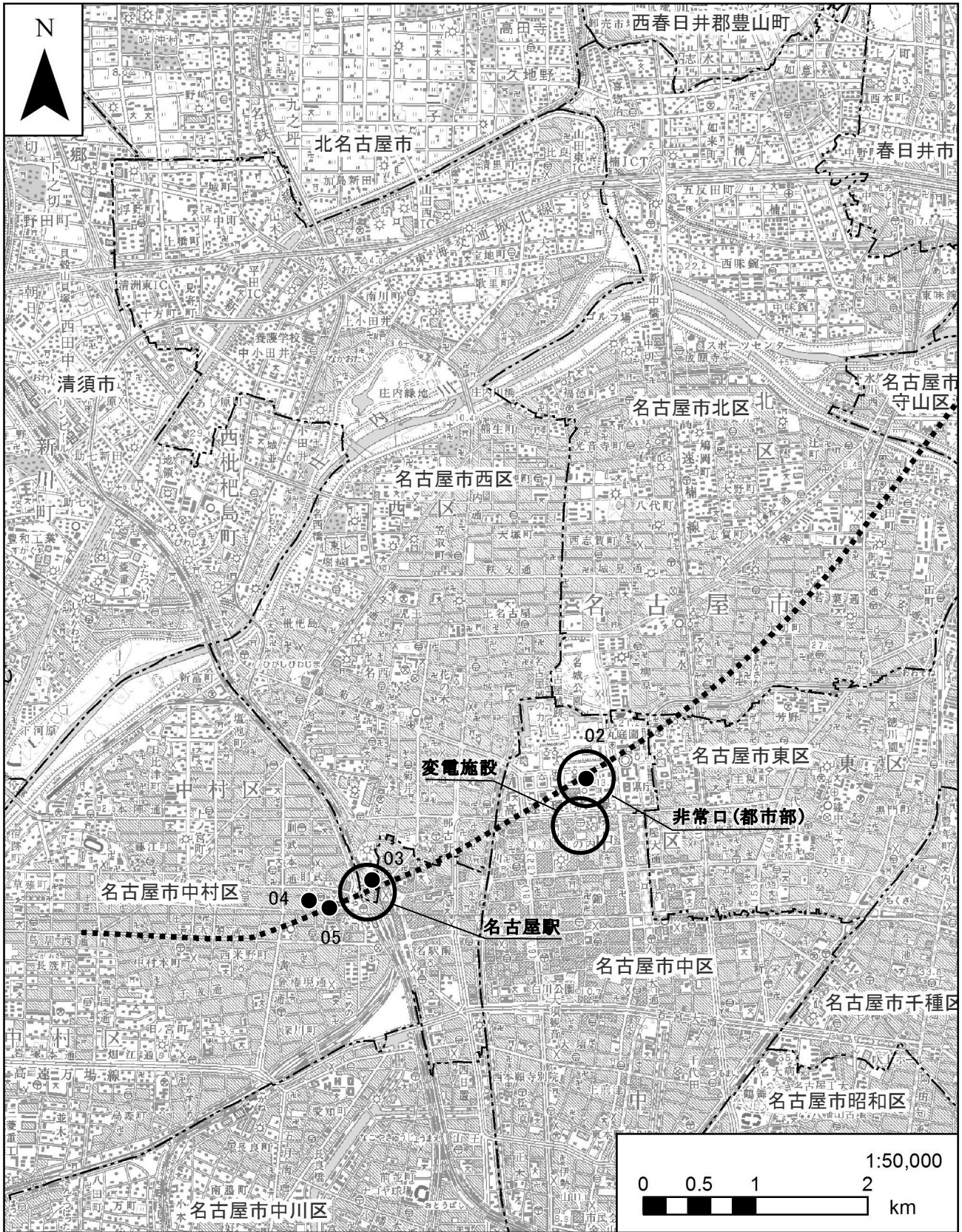
地点番号	市区名	所在地	計画施設	備考
01	春日井市	坂下町	非常口（都市部）	浅層観測井
				深層観測井
02	名古屋市 中区	三の丸	非常口（都市部）	浅層観測井
				深層観測井
03	名古屋市 西区	名駅	地下駅	浅層観測井
				深層観測井
04	名古屋市 中村区	則武	地下駅	深層観測井
05			地下駅	浅層観測井
				深層観測井



凡例

- 計画路線(トンネル部) ● 水位
- 県境
- 市区町村境

図 2-1-2-1(1) 調査地点図 (地下水の水位)



凡例

- 計画路線(トンネル部) ● 水位
- - - 県境
- · - · - 市区町村境

図 2-1-2-1(2) 調査地点図(地下水の水位)

2-1-3 調査期間

現地調査の期間を表 2-1-3-1 に示す。

表 2-1-3-1 地下水の水位の現地調査期間

地点番号	市区名	所在地	調査期間	調査日
01	春日井市	坂下町	平成 27 年 9 月～ 平成 28 年 3 月	平成27年4月30日 平成27年5月28日 平成27年6月25日
02	名古屋市 中区	三の丸	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月	平成27年7月31日 平成27年8月25日
03	名古屋市 西区	名駅	平成 28 年 1 月～ 平成 28 年 3 月	平成27年9月29日 平成27年10月26日
04	名古屋市 中村区	則武	平成 27 年 9 月～ 平成 28 年 3 月	平成27年11月25日 平成27年12月21日 平成28年1月28日
05	名古屋市 中村区	則武	平成 27 年 9 月～ 平成 28 年 3 月	平成28年2月19日 平成28年3月15日

2-1-4 調査結果

調査結果を図 2-1-4-1に示す。なお、水位は井戸孔口（G.L.）からの深さを示す。

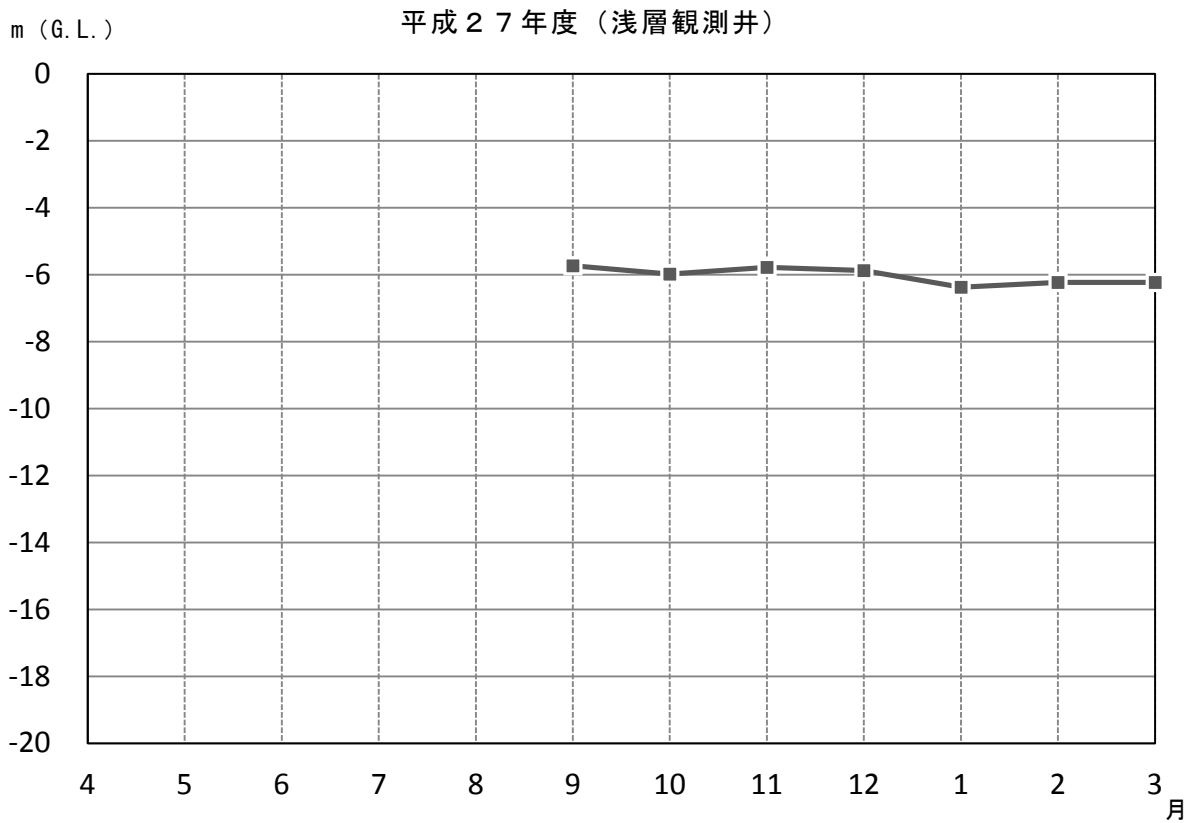


図 2-1-4-1(1) 地下水の水位の現地調査結果 (地点 : 01)

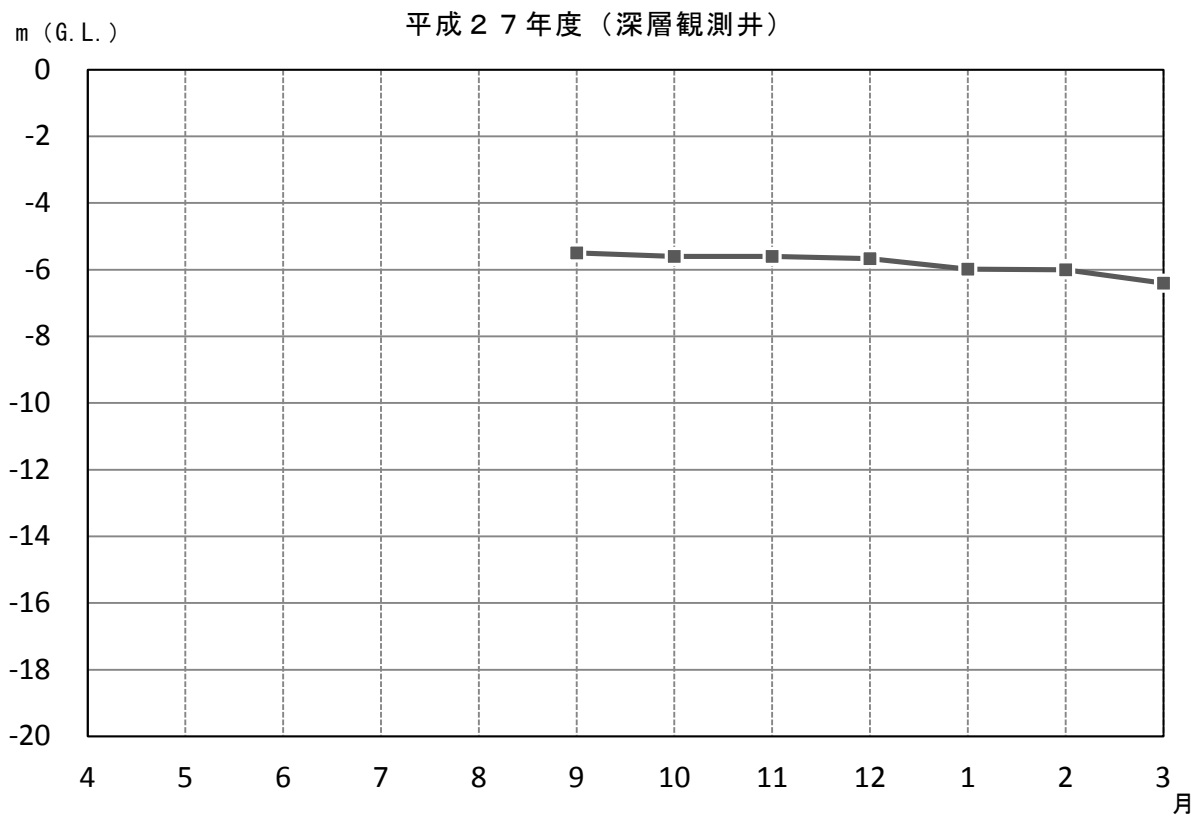


図 2-1-4-1(2) 地下水の水位の現地調査結果 (地点 : 01)

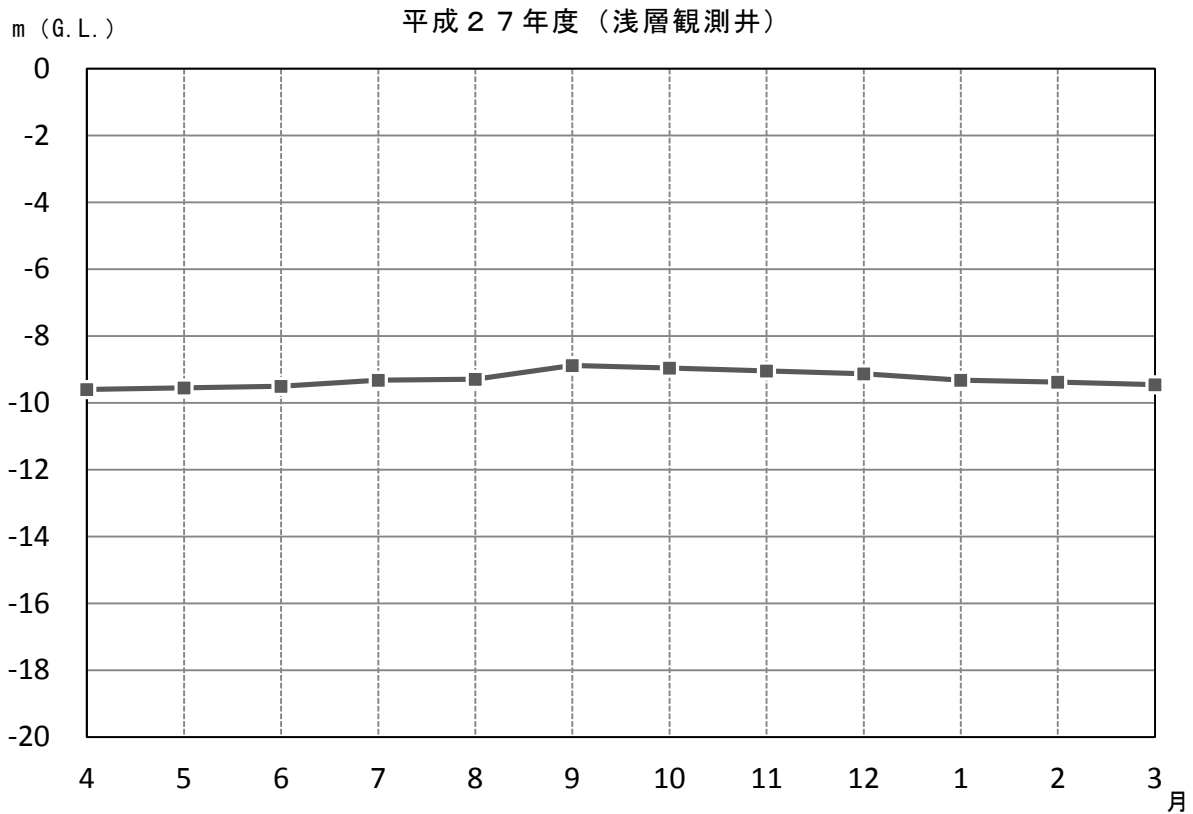


図 2-1-4-1(3) 地下水の水位の現地調査結果（地点：02）

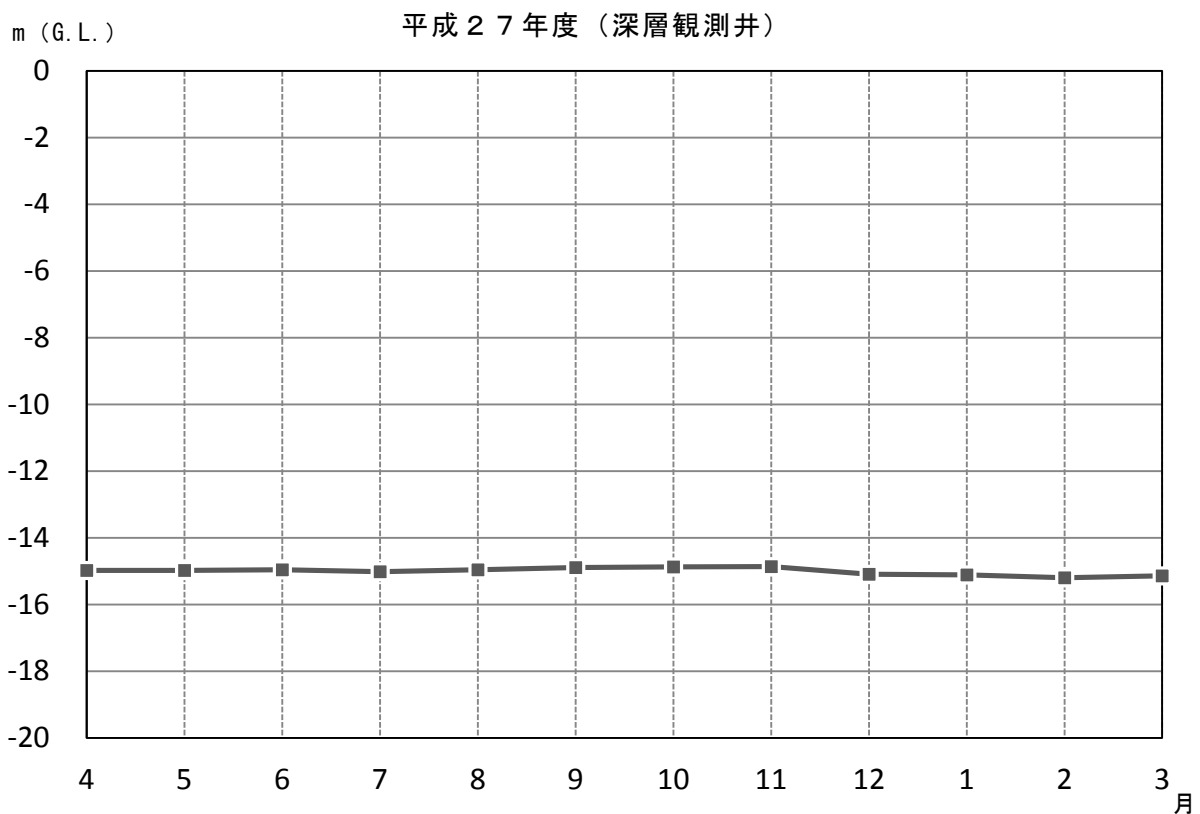


図 2-1-4-1(4) 地下水の水位の現地調査結果（地点：02）

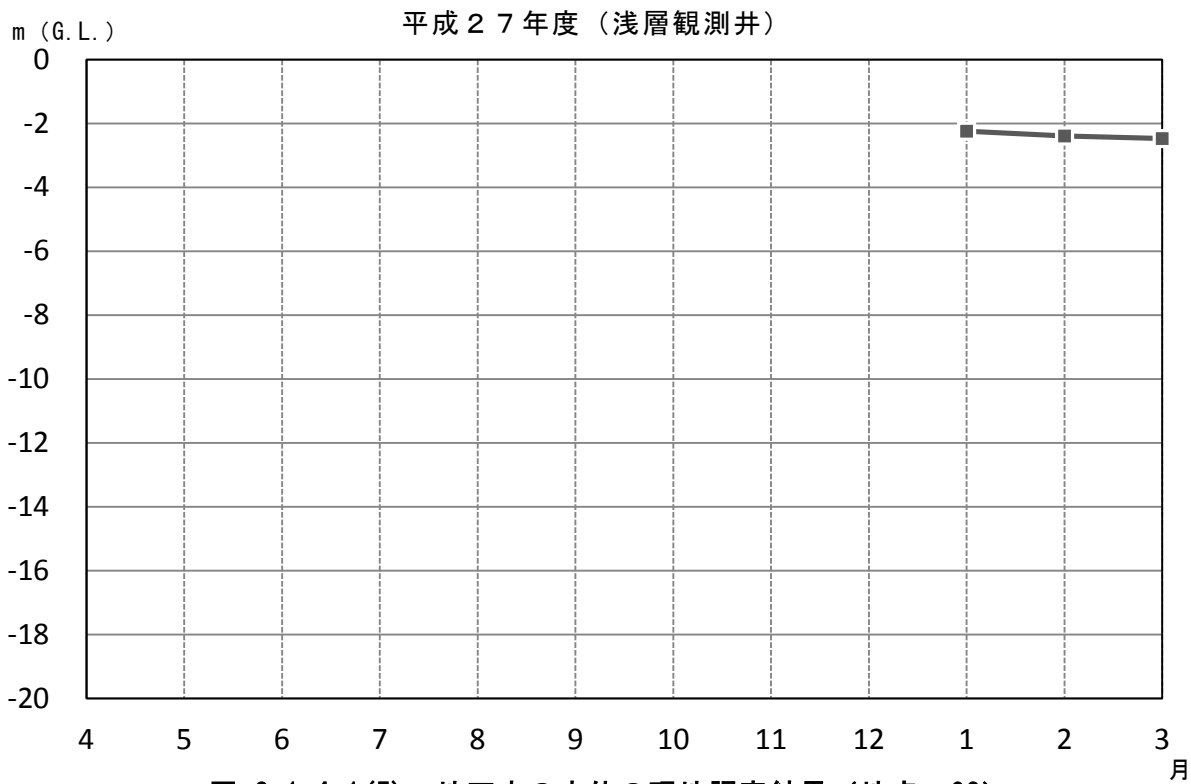


図 2-1-4-1(5) 地下水の水位の現地調査結果（地点：03）

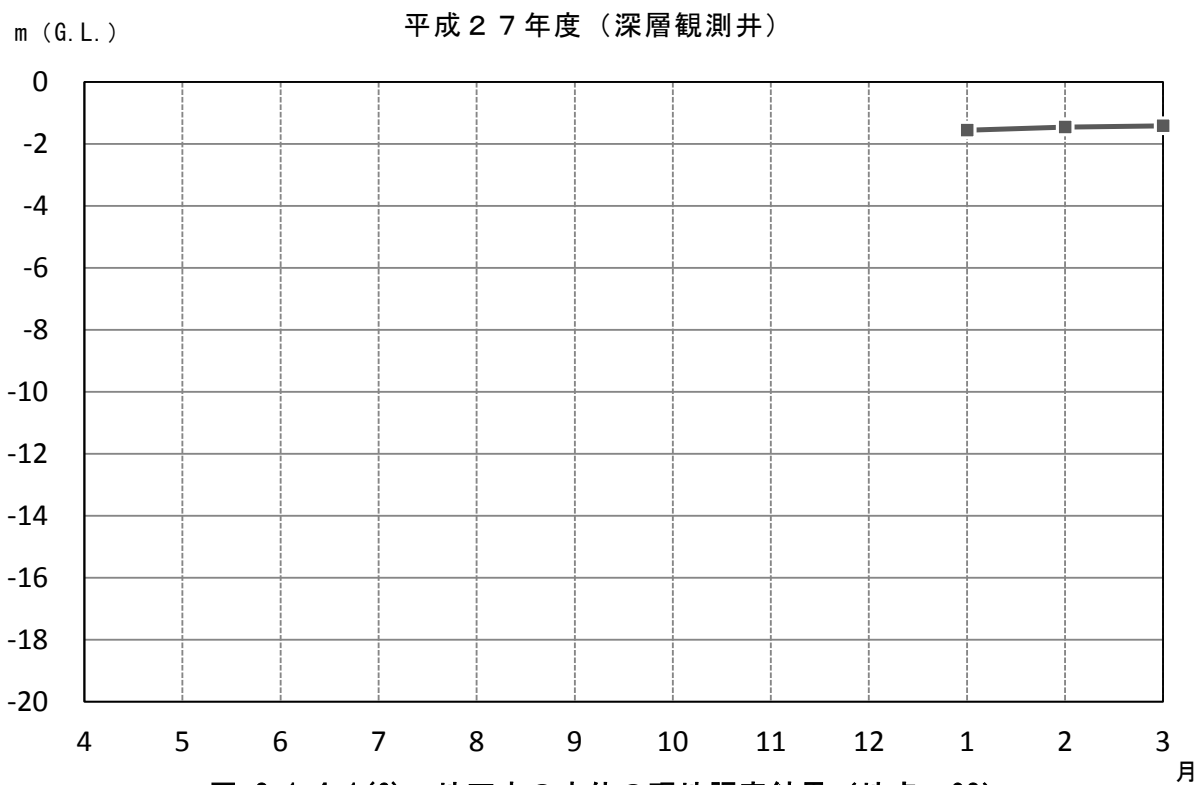


図 2-1-4-1(6) 地下水の水位の現地調査結果（地点：03）

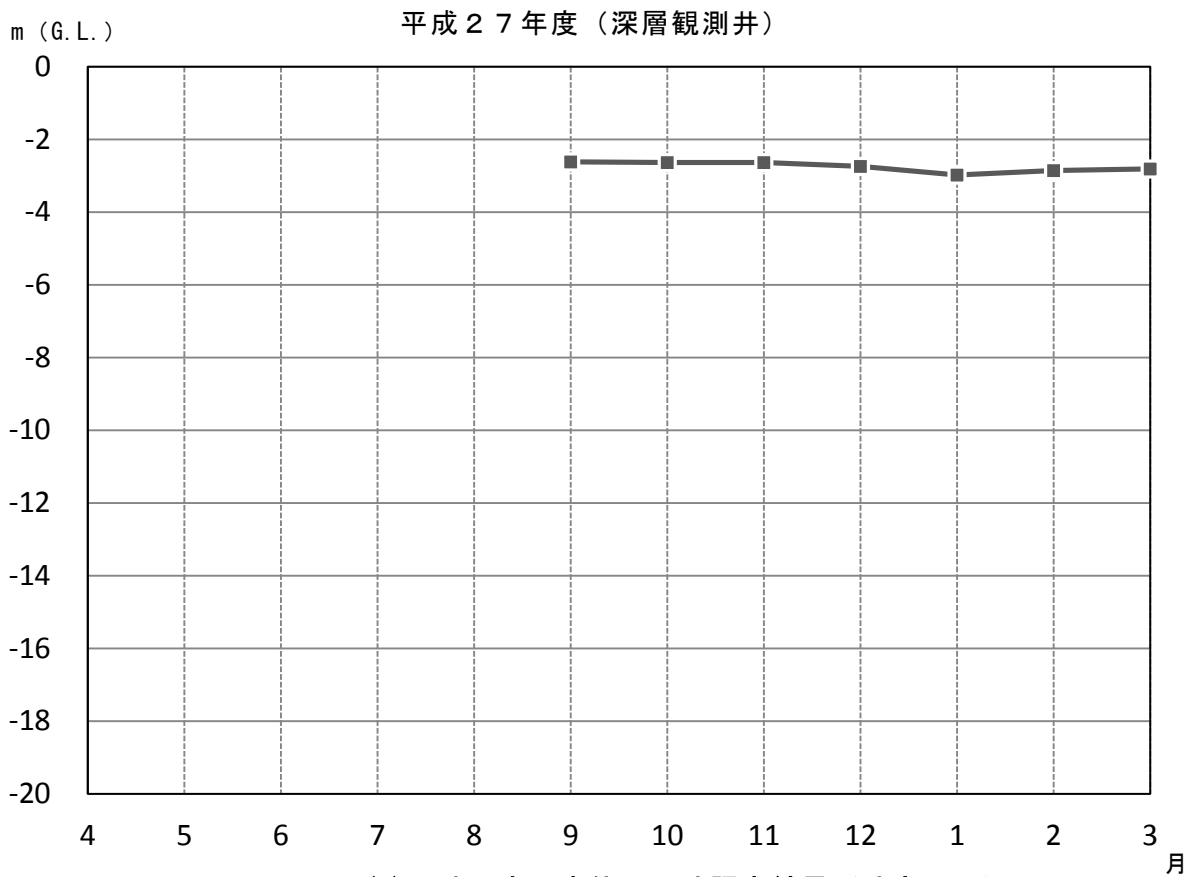


図 2-1-4-1(7) 地下水の水位の現地調査結果 (地点 : 04)

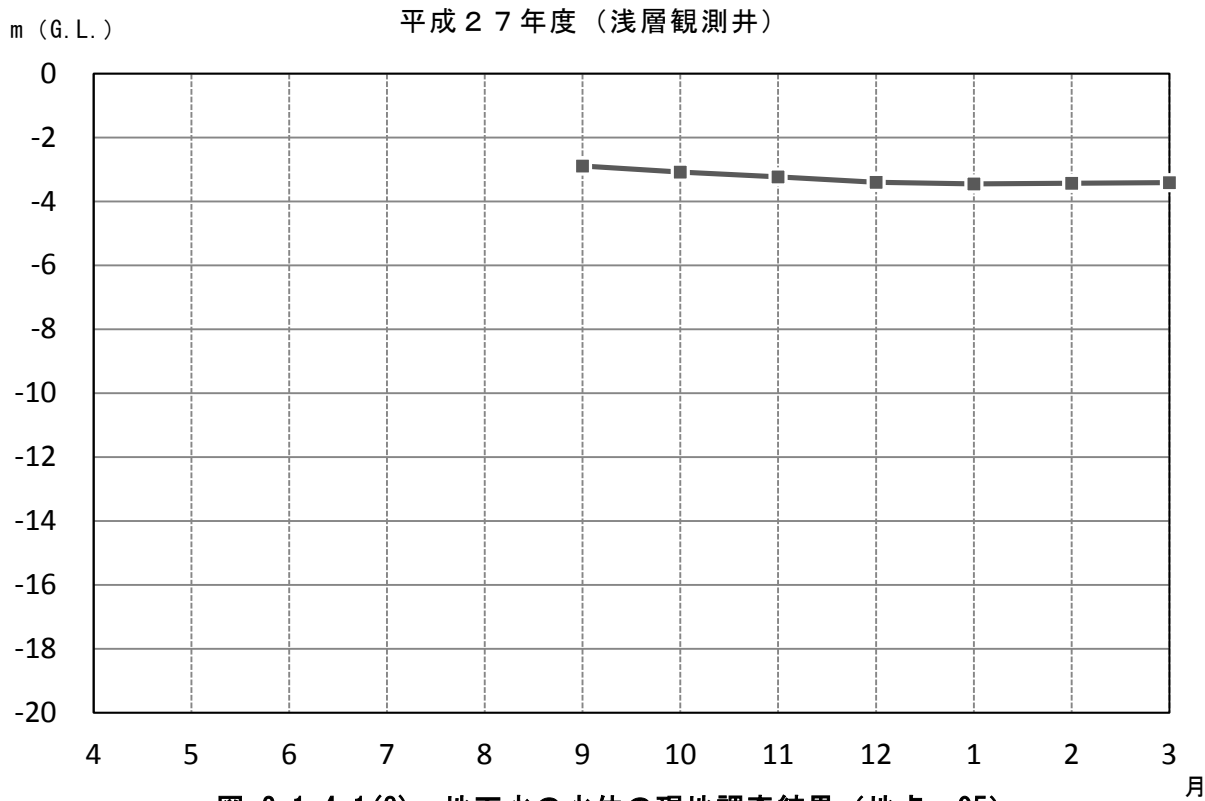


図 2-1-4-1(8) 地下水の水位の現地調査結果 (地点 : 05)

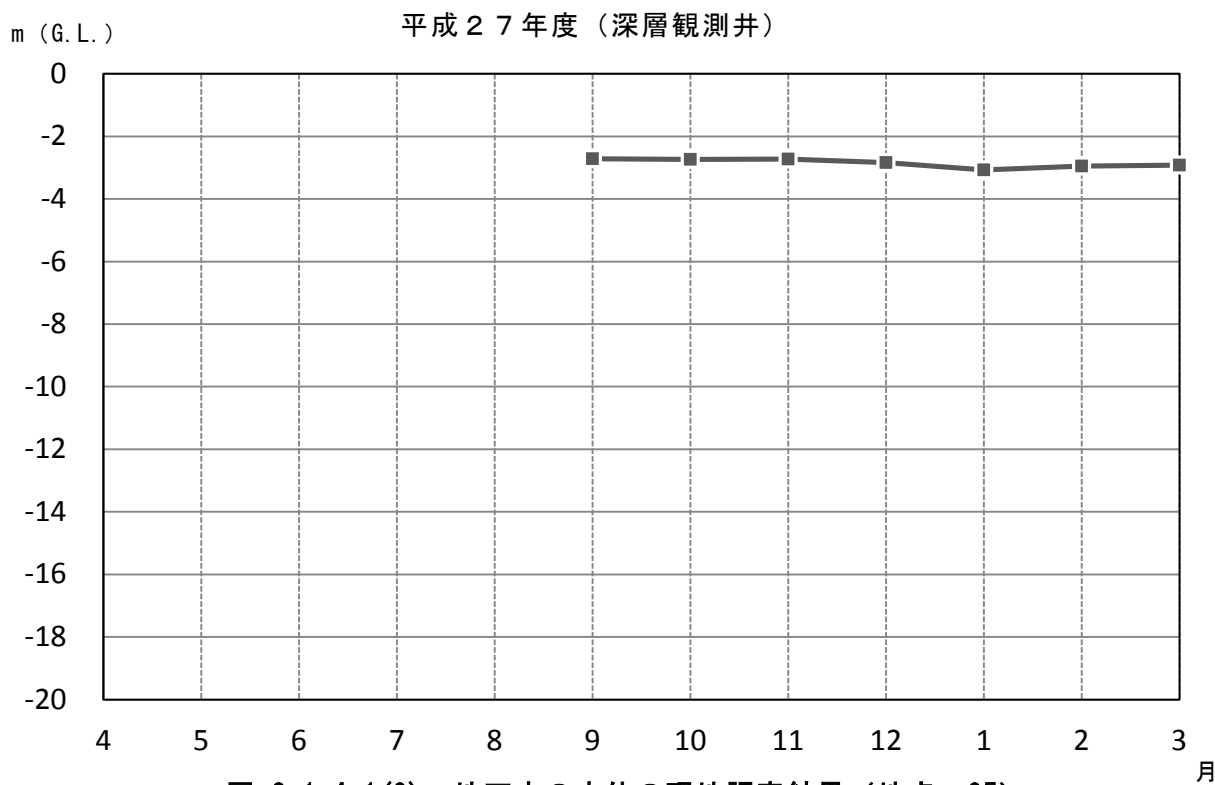


図 2-1-4-1(9) 地下水の水位の現地調査結果 (地点 : 05)

3 その他特に実施した調査

3-1 希少猛禽類の継続調査

評価書において事後調査の対象とした鳥類（希少猛禽類）について、工事着手までの間の生息状況を把握するため、継続調査を行った。既往調査で個体が確認された西尾地区の非常口（山岳部）及び保守基地付近を対象に調査範囲を設定した。なお、本調査では、平成27年度に完了する営巣期の調査結果を記載した。

3-1-1 調査方法

調査方法を、表 3-1-1-1に示す。

表 3-1-1-1 希少猛禽類の調査方法

調査項目		調査方法
希少猛禽類	定点観察調査	猛禽類の営巣が考えられる地域について繁殖地特定のための行動の確認を目的として、設定した定点において簡易無線機による情報交換を行いながら、8～10倍程度の双眼鏡及び20～60倍程度の望遠鏡を用いて、飛翔行動等を確認した。繁殖巣が特定された場合には、巣の見える位置から巣周辺を観察した。
	営巣地調査	古巣及び営巣木の確認を目的として、生息の可能性が高い林内を歩き、樹木の状況、巣がかけられている営巣木の状況（樹種、樹高、胸高直径、営巣位置等）、巣の形状（直径、厚さ）、周辺の地形や植生等を記録した。

3-1-2 調査地点

現地調査地点は、事後調査の対象とした猛禽類のペアの行動が確認できるように工事施工ヤードなど事業地周辺に設定した。なお、設定にあたっては専門家から意見を聴取した。

3-1-3 調査期間

調査期間を、表 3-1-3-1 に示す。

表 3-1-3-1 希少猛禽類の調査期間

調査項目	調査手法	調査実施日	
希少猛禽類	定点観察調査 営巣地調査	繁殖期	平成27年2月18日～20日 平成27年3月18日～20日 平成27年4月15日～17日 平成27年5月18日、29日 平成27年6月8日、25日 平成27年7月2日、14日～16日、21日 平成27年8月18日～20日、21日

3-1-4 調査結果

希少猛禽類の継続調査における確認状況を表 3-1-4-1 に示す。なお、当該ペアについては事後調査を実施するまでの間、調査を継続的に行う予定である。

表 3-1-4-1 希少猛禽類の確認状況（平成 27 年 2 月～8 月）

ペア名	確認状況
オオタカ（西尾ペア）	平成26年の調査で確認されている古巣で、繁殖に成功した。幼鳥2羽の巣立ちを確認した。定点観察調査においてオオタカの飛翔、とまり等は例年どおり確認されたが、改変区域内における採餌活動は確認されなかった。

4 業務の委託先

環境調査等に係る一部の業務は、表 4-1 に示す者に委託して実施した。

表 4-1 環境調査等に係る業務の委託先

名 称	代表者の氏名	主たる事務所の所在地
ジェイアール東海コンサルティング株式会社	代表取締役社長 森下 忠司	愛知県名古屋市中村区 名駅五丁目33番10号 アクアタウン納屋橋
アジア航測株式会社	代表取締役社長 小川 紀一郎	東京都新宿区 西新宿六丁目14番1号 新宿グリーンタワービル
パシフィックコンサル タツ株式会社	代表取締役社長 高木 茂知	東京都千代田区 神田錦町三丁目22番地
国際航業株式会社	代表取締役社長 土方 聡	東京都千代田区 六番町2番地
株式会社トーニチコン サルタント	代表取締役社長 川東 光三	東京都渋谷区 本町一丁目13番3号 初台共同ビル
日本交通技術株式会社	代表取締役社長 大河原 達二	東京都台東区 上野七丁目11番1号
株式会社復建エンジニ ヤリング	代表取締役社長 安藤 文人	東京都中央区 日本橋堀留町一丁目11番12号

なお、委託した業務の内、愛知県においては、株式会社トーニチコンサルタントが担当した。

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分1 日本、50万分1 地方図、数値地図200000（地図画像）、数値地図50000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平28情複、第177号）」

なお、承認を得て作成した複製品を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得る必要があります。

本書は、再生紙を使用している。